

#### 4.4.2 交換用加熱ジャケットの部品番号

INFICON はセンサーのベーキングに使用する何種類かの加熱ジャケットを提供しています。これらのジャケットは適用するセンサーに合わせてサイズが設定されています。

##### 高性能センサー、120/230 V (ac)

- ◆ ファラデーカップセンサー用加熱ジャケット —IPN 912-416-P1
- ◆ 電子増倍管用加熱ジャケット —IPN 912-417-P1

##### コンパクトセンサー、120/230 V (ac)

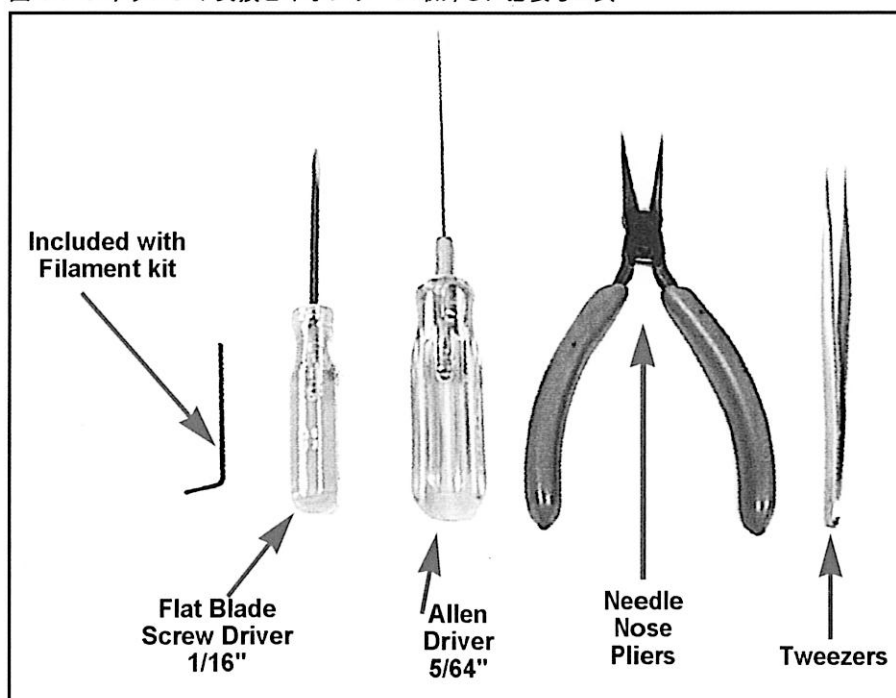
- ◆ FC-FC/MCP 用加熱ジャケット —IPN 912-415-P1
- ◆ XPR2— このセンサー用の加熱ジャケットは用意されていません

##### 加熱ジャケット用電源ケーブル

- ◆ 120 V(ac)—IPN 600-1117-P1
- ◆ 230 V(ac)—IPN 600-1117-P2

#### 4.4.3 フィラメント交換とイオンソース取外しに必要な工具

図 4-1 フィラメント交換とイオンソース取外しに必要な工具



IPN 074-276Q

#### 4.4.4 フィラメント交換 (C100, H100, H200, H300 センサー)

フィラメント交換用として別売のキットが用意されています。このキットには新品のフィラメントアセンブリ（輸送用治具に固定）と小型六角レンチが含まれます。フィラメントを交換するときは以下のステップに従って作業してください。

**注：** 以下の作業へ着手する前にセクション 4.4.3「フィラメント交換とイオンソース取外しに必要な工具」（p.4-4）を参照して必要な工具を揃えてください。



#### 注意

使用後のフィラメントをクリーニングすることはできません：  
汚れたフィラメントは新品と交換してください。

図 4-2 を参照しながらステップ 1 から 3 までを実行してください。

- 1 2本のフィラメントリード線をバレルコネクタで所定の位置に固定されています。バレルコネクタの六角ネジ（A）を緩めてください。

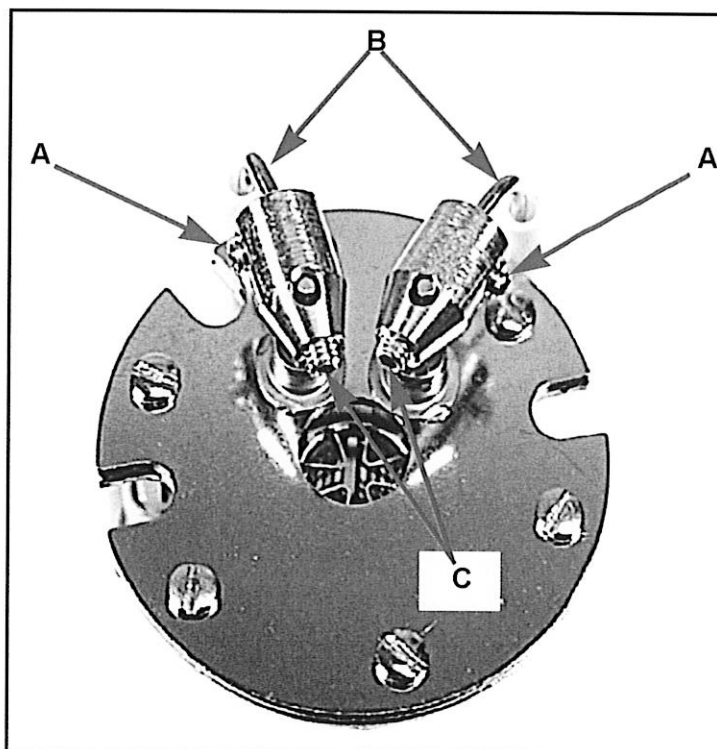


#### 注意

フィラメントポストは動いてはいけません。バレルコネクタを先細プライヤーで押さえてポストが動かないようにしてください。

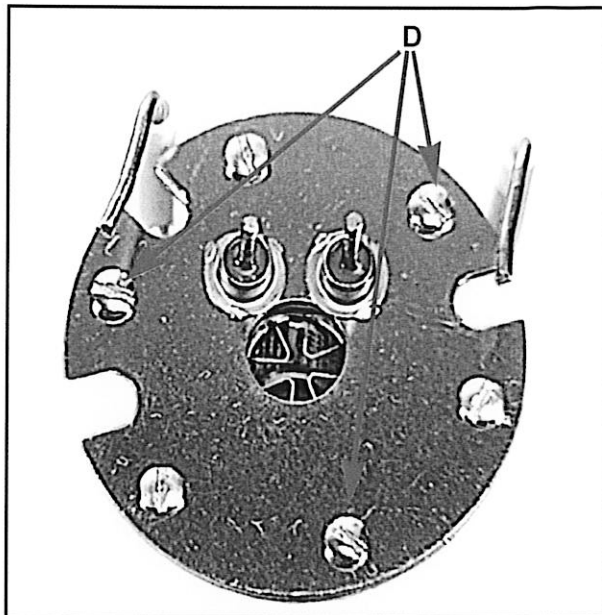
- 2 2本のフィラメントリード線（B）をバレルコネクタから取外します。
- 3 バレルコネクタの他の六角ネジ（C）を緩め、バレルコネクタを使用済みフィラメントアセンブリから取外します。

図 4-2 バレルコネクタ



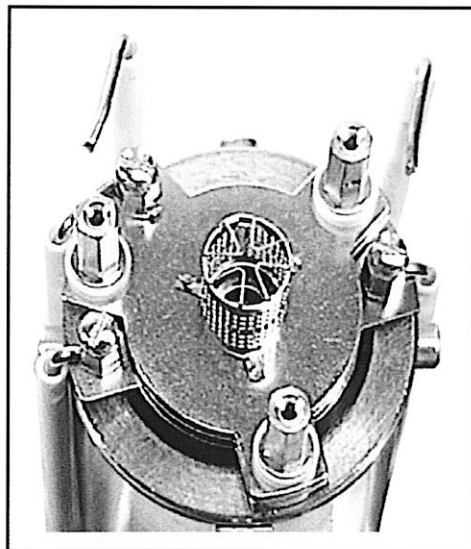
- 4 使用済みフィラメントアセンブリを 3 本のポストに固定しているピンヘッドネジ (D) を取外します (図 4-3 参照)。

図 4-3 ピンヘッドネジ



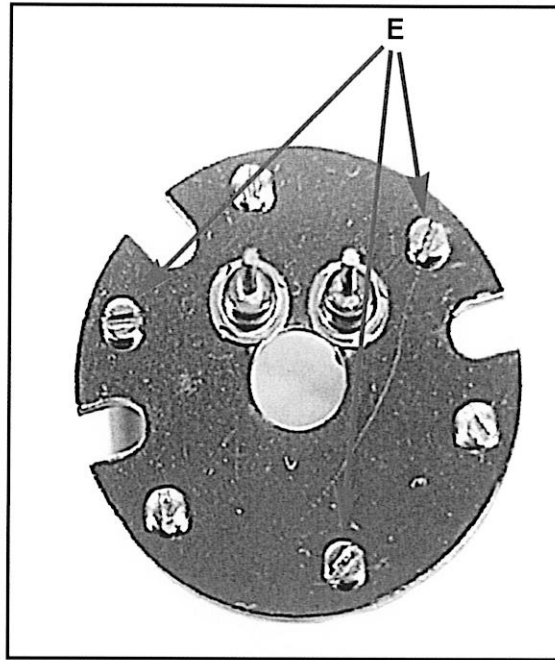
- 5 フィラメントアセンブリを慎重に取外します (図 4-4 参照)。

図 4-4 フィラメントアセンブリごとセンサーを取外します



- 6 新品のフィラメントを輸送用治具に固定している 3 本のネジ (E) を取外します (図 4-5 参照)。

図 4-5 フィラメントを輸送用治具に固定しているネジ



- 7 新しいフィラメントアセンブリを慎重に治具から取外して、イオンソースのポストの上に置きます。

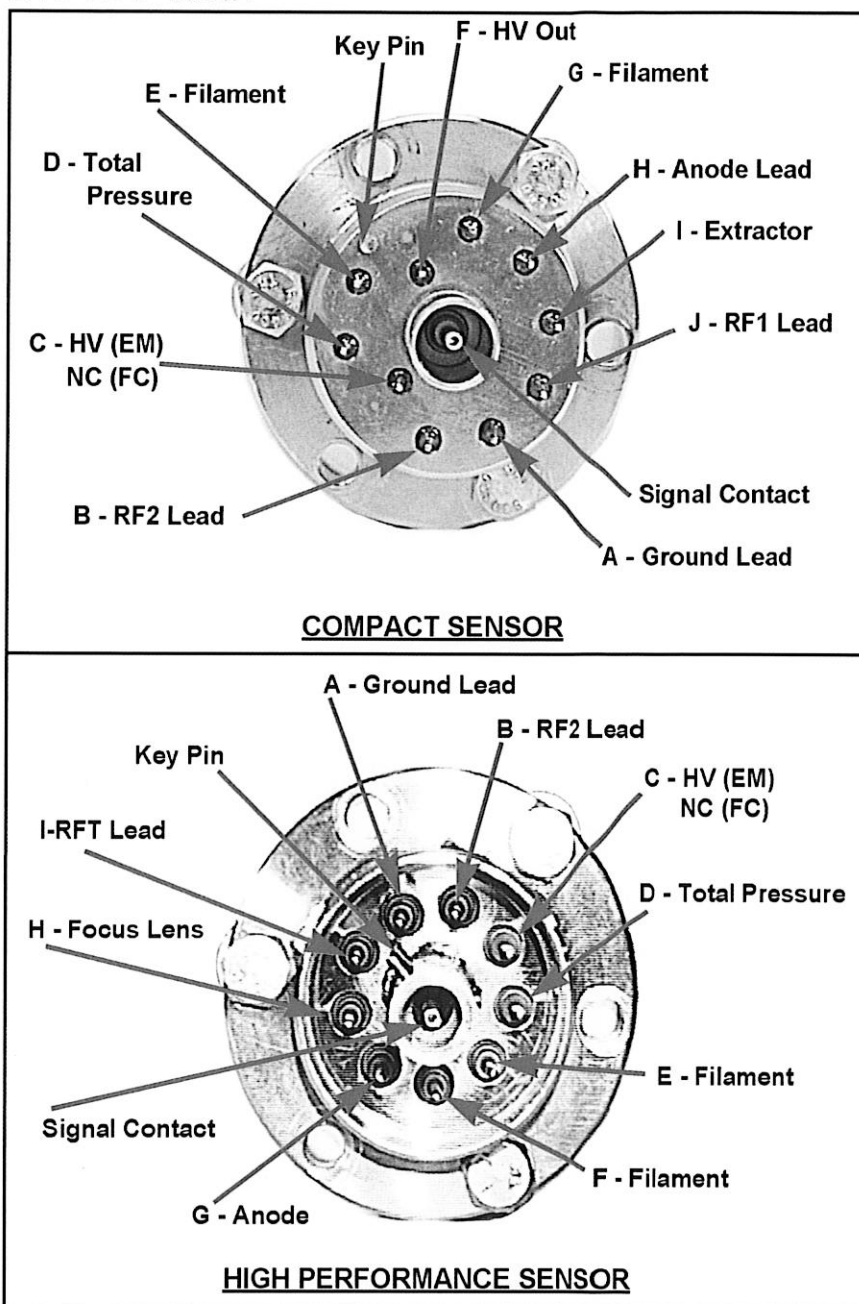


#### 注意

新しいフィラメントをイオンソースに置く操作は特に慎重に行ってください。水平方向へ余分に動かすとフィラメントがケージに接触して傷める恐れがあります。

- 8 フィラメントアセンブリの3本のネジを元の位置に取付けます（フィラメントが水平方向へ動かないように注意してください）。
- 9 バレルコネクタをフィラメントポストに取付けて締め付けます。
- 10 フィラメントリード線をバレルコネクタへ差し込んで締め付けます。
- 11 テスター（抵抗計）を使用してフィラメントと GND 間が短絡していないこと、およびフィラメントが貫通端子間で約  $1.0\Omega$ （バレルコネクタ間で約  $0.5\Omega$ ）の抵抗値を示すことを確認します（図 4-6 参照）。

図 4-6 センサー貫通端子



IPN 074-276Q

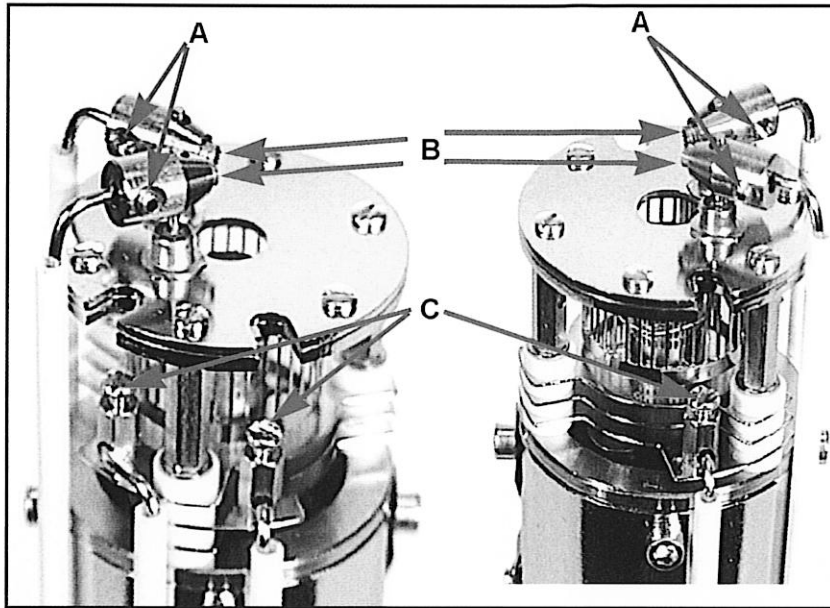
#### 4.4.5 イオンソースの取外し (CI00、H100、H200、H300)

イオンソースを取外すときは以下の順にしたがって作業を行ってください：

**注：** 以下の作業へ着手する前にセクション 4.4.3「フィラメント交換とイオンソース取外しに必要な工具」(p.4-4)を参照して必要な工具を揃えてください。

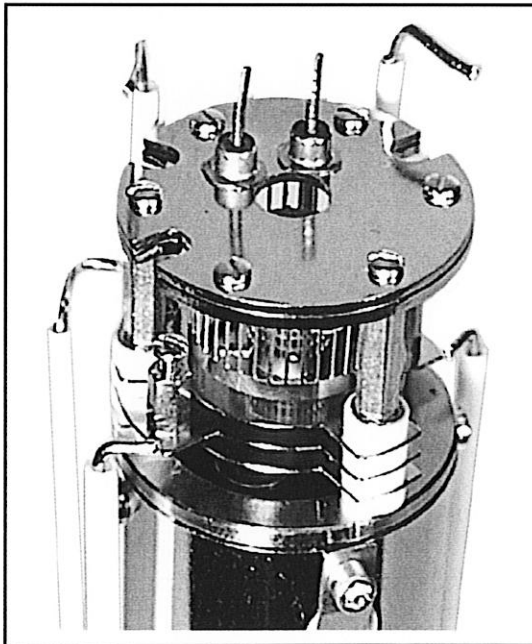
- 1 図 4-7 を参照しながら、フィラメントパレルコネクタの六角頭ネジ (A) と (B)、およびリード線コネクタのネジ (C) を緩めてください。パレルコネクタとイオンソースからのリード線を取外します。

図 4-7 リード線の取外し



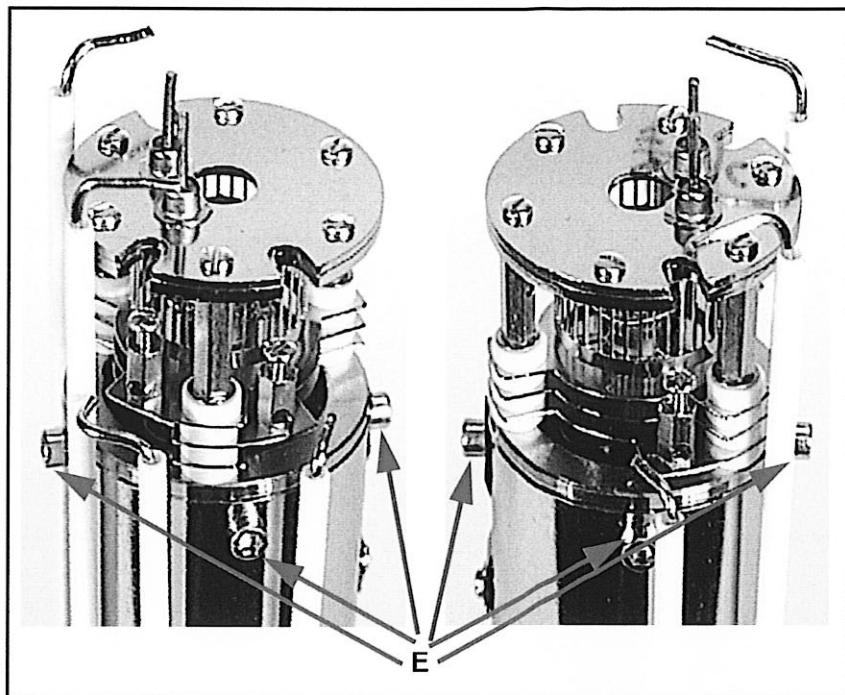
- 2 リード線をセンサーから引き抜きます (図 4-8 参照)。

図 4-8 パレルコネクタを取外し、リード線を引き抜いて脇に寄せた状態のセンサー



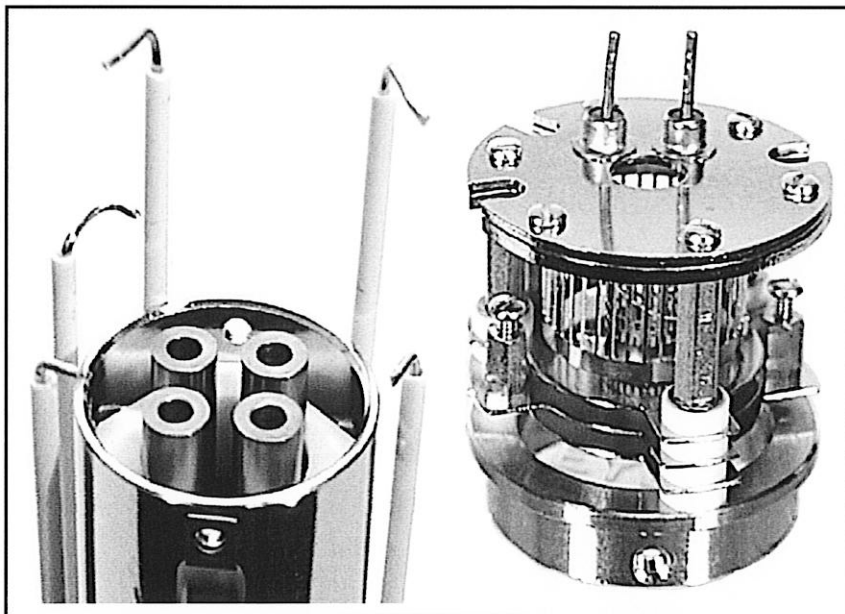
- 3 イオンソース底部を周りから固定している4本の六角頭ネジ(E)を取外します。イオンソースはこの4本のネジによって四重極に固定されています(図4-9 参照)。

図4-9 イオンソースを四重極アセンブリへ固定しているネジ



- 4 これでイオンソースが外せる状態になりました。イオンソースを上方向へ持ち上げて四重極アセンブリから取外してください。ここまでの操作を逆順に実行して新しいイオンソースアセンブリを取付けてください(図4-10 参照)。

図4-10 四重極アセンブリと取外したイオンソース



- 5 テスター(抵抗計)を使用してフィラメントがGNDラインやその他のレンズへ短絡していないこと、また2本のフィラメントリード線間が適正な抵抗値(貫通端子間で約 $1.0\Omega$ 、バレルコネクタ間で約 $0.5\Omega$ )を示すことを確認してください。ピン配列については図4-6(P.4-8)をご覧ください。